

◎ 美術館情報

【各施設では、下記の特別展・企画展等のほか、常設展を開催しております】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの美術館等で、臨時休館やイベントの休止、展覧会の中止や開催期間の変更、および入館方法等が変更になっています。

状況が日々変動しているため、各施設の公式ホームページなどで最新の情報をご確認ください。

1. 瀬戸染付工芸館【愛知・瀬戸】(<http://www.seto-cul.jp/sometsuke/kikaku/index.html>)

8月12日(水)～11月30日(月)

企画展：瀬戸染付工芸館 開館20周年記念「瀬戸染付―厳選の逸品―」
開館20周年を記念し、これまでに個人収集家からお借りした作品を中心とした瀬戸染付の名品の中から、展覧会初出品作も含む、特に優れた作品約20点を選び紹介します。



2. 岐阜県現代陶芸美術館【岐阜・多治見】(https://www.cpm-gifu.jp/museum/02.exhibition/02_1.exhibition.html)

9月5日(土)～11月3日(火・祝)

企画展：神業ニッポン 明治のやさもの 幻の横浜焼・東京焼

華やかで精緻を極めたモチーフによって装飾された輸出陶磁器「横浜焼・東京焼」は「神業」ともいふべき超絶技巧を凝らした品々で、外国の人々の好みを反映して制作されました。しかし、国内に現存する作品が希少で、制作過程や実態に謎が多く、「幻の陶磁器」と呼ばれています。



本展では、国内随一のコレクター・田邊哲人氏が里帰りさせたコレクションから精選した作品と、日本に現存する優品を一堂におよそ150点紹介し、幻といわれるその全豹に迫ります。

3. とうしん美濃陶芸美術館【岐阜・多治見】(<https://www.shinkin.co.jp/tono/toshin/pdf/minotougei.pdf>)

9月2日(水)～12月27日(日)

企画展：若尾利貞／若尾経／加藤仁香 3人展

多治見市小名田町に工房を構える岐阜県無形文化財の若尾利貞、多治見市陶磁器意匠研究所卒業で青瓷を中心とした作品の若尾経、白磁・色絵を展開する加藤仁香の3人展を開催します。3人それぞれの表現をご紹介します。



4. 三重県美術館【三重・津】

(<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/54798037874.htm>)

9月19日(土)～12月13日(日)

企画展：香りの器―高砂コレクション

高砂(たかさご)香料工業のコレクションから、「香り」にまつわる工芸品を展示する展覧会。香りの原料となる香木や香油をおさめるために、古代から贅を尽くし、美しく飾った器がつくられてきました。本展では、古代オリエントの香油瓶や日本の香道具、20世紀フランスを彩った香水メーカーの香水瓶から、古今東西の「香り」の文化と歴史をご紹介します。